

吹田市民の地域福祉に関する実態調査 第2回地域福祉計画庁内推進委員会における指摘事項及び検討結果一覧

問		指摘事項	検討結果
鑑文			
1	回答御記入上のお願い	合理的配慮に関する一文を追記するのはいかがでしょうか。	「7. その他配慮が必要な方は、お手数ですが、下記のお問合せ先までご連絡ください。」の文言を追加
項目1 あなた自身のことやご家庭のことについて			
1	あなたの性別は。		
2	あなたの年齢は。		
3	あなたが一緒に暮らしている人についてお答えください。		
3-1	一緒に暮らしている人はどなたですか。あなたからみた続柄でお答えください。		
3-2	一緒に暮らしている人の年齢や属性を教えてください。		
4	現在の住まいは、次のどれにあてはまりますか。		
5	現在の住まいには、何年間お住まいですか。		
6	あなたはどちらの地域にお住まいですか。		
7	あなたの世帯の主な収入についてお答えください。		
8	あなたの生活の経済的な状況について、どのように感じていますか。		
項目2 相談や情報の入手などについて			
9	日常生活で困っていることや不安なことはありますか。		
10	あなたは、日頃、くらしや健康・福祉のことで相談できる相手はいますか。		
11	あなたは、くらしや健康・福祉に関わる相談窓口（相談先）として、知っているものや、利用したことがあるものはありますか。	回答項目に子育て広場を追加するのはいかがでしょうか。	回答項目に「9. 子育て広場」を追加
12	あなたやご家族は、福祉のことで問11の相談窓口（相談先）に相談した結果、いかがでしたか。		
12-1	どのようなことを相談したときにしっかり聞いてくれなかったですか。具体的にご記入ください。		
13(1)	あなたはくらしや健康・福祉に関する情報を何（どこ）から得ていますか。（市が発信する情報）	選択肢は、(1)市の情報と(2)地域団体や地域住民が発信する情報の2つとなっているが、多くの方は市や地域団体・地域住民が発信する情報以外の情報（例：TVやSNS等）から情報を得ているのでは。	設問の趣旨が伝わるように「あなたは、市や地域団体、地域住民が発信するくらしや健康・福祉に関する情報を～」を追記
13(2)	あなたはくらしや健康・福祉に関する情報を何（どこ）から得ていますか。（地域団体や地域住民が発信する情報）	同上	同上

吹田市民の地域福祉に関する実態調査 第2回地域福祉計画庁内推進委員会における指摘事項及び検討結果一覧

問		指摘事項	検討結果
項目3 ご近所付き合いについて			
14	あなたの世帯では、日頃、隣近所の方とどのような付き合いをしていますか。	①世帯単位よりも個人単位では。 ②この設問のみ「隣近所」に限定しています。他の設問と同様に、「近所」に合わせるのはどうか。	問14の設問を①「あなたの世帯では」→「あなたは」、②「隣近所の方」→「近所の方」に修正
14-1	問14で「1.くらしのことで話し合ったり助け合っている」「2.世間話をする」と回答した方にお聞きます。そのように付き合っている理由は何ですか。		問14-2に対する御意見を反映し、設問に「3. あいさつをする」を追記
14-2	問14で「3.あいさつをする程度」「4.ほとんど付き合っていない」と回答した方にお聞きます。近所付き合いが難しい理由は何ですか。	選択肢「3. あいさつをする程度」も近所付き合いが難しい理由を聞く対象となっているが「4.ほとんど付き合っていない」と回答した人のみを対象としてはどうか。 ※国の調査では、コロナ禍を経て「地域の人とあいさつをする程度」の関係があればよい」と考える人の割合が増加し、地域との関係性について、相談し合う「深いつながり」よりも、あいさつ程度の「緩やかなつながり」を望む傾向が強まっている結果が出ています。国では、このような緩やかな関係性は、孤立を防ぎつつも過度な負担を避けるちょうどよい緩やかなつながりとして注目されており、近所付き合いの1つに含めています。	設問の「3. あいさつをする」を問14-1の設問に移動（問14-2の設問からは削除）
項目4 地域で暮らす中での問題などについて			
15	あなたが地域で暮らす中で、福祉について、日頃、気になっていることは何ですか。		
16	あなたが地域で暮らす中で、地域住民の交流について、日頃、気になっていることは何ですか。		
17	あなたが地域で暮らす中で、くらしや健康・福祉に関する制度や施設・サービスについて、日頃、気になっていることは何ですか。	回答項目に「子供の居場所（子供が安心して過ごせる場所）が少ない」というような内容を追加するのはどうか。	回答項目に「3. 子供が気軽に集える施設が少ないこと」を追加 回答項目4を3に併せて文言を修正
18(1)	あなたは、地域で力を合わせて安心して暮らすために、どんな取組が必要だと考えますか。 (住民が主体的に取り組むことは。)		
18(2)	問19の選択肢の中で、あなたは、どのようなことができそうですか。		
18(3)	(市役所などの行政が主体的に取り組むことは。)		

吹田市民の地域福祉に関する実態調査 第2回地域福祉計画庁内推進委員会における指摘事項及び検討結果一覧

問		指摘事項	検討結果
項目5 地域活動やボランティア活動について			
19	あなたの世帯では地域の自治会に加入していますか。		
19-1	問19で「1.加入している」と回答した方にお聞きします。加入してよかったことは何ですか。		
19-2 (新設)	問19で「1.加入している」と回答した方にお聞きします。加入して課題だと感じたことは何ですか。		
19-3	問19で「2.加入していない」と回答した方にお聞きします。その理由は何ですか。		
20	あなたは今、地域活動に参加したり、取り組んだりしていますか。		
20-1	問20で1から16のいずれかに回答した方にお聞きします。参加してよかったことは何ですか。		
20-2	問20で「17.参加していない」と回答した方にお聞きします。地域でどのような活動(居場所)があれば参加してみたいですか。	問22-2「地域でどのようなボランティア活動があれば参加してみたいですか」の回答と表現を合わせるのはいかがでしょうか。(「同世代の人と交流できる」と「同世代の人と交流するきっかけになる」のどちらかに統一する等)	回答項目に「4. 短い時間でも参加できる」を追記 (回答の表現については、本設問の内容に合わせる形で問22-2を修正した)
21	地域活動に参加しやすくするために必要なことは何だと思いますか。		
22	あなたは、現在、福祉ボランティア活動に参加したり、取り組んだりしていますか。		
22-1	問22で「1」～「11」のいずれかに回答した方にお聞きします。参加してよかったことは何ですか。		
22-2	問22で「12.参加していない」と回答した方にお聞きします。地域でどのようなボランティア活動があれば参加してみたいですか。	問20-2「地域でどのような活動(居場所)があれば参加してみたいですか」の回答と表現を合わせるのはいかがでしょうか。	①「5. 同世代の人と交流するきっかけになる」→「5. 同世代の人と交流できる」②「自分とちがう年代の人と交流するきっかけになる」→「自分とちがう年代の人と交流できる」に修正

吹田市民の地域福祉に関する実態調査 第2回地域福祉計画庁内推進委員会における指摘事項及び検討結果一覧

問		指摘事項	検討結果
項目6 社会福祉協議会やコミュニティソーシャルワーカー（CSW）について			
23	市内に社会福祉協議会が設置されていることを知っていますか。		
24	社会福祉協議会の取組として知っているものをあげてください。		
25	あなたは、社会福祉協議会にCSWが配置されていることを知っていますか。		
26	CSWに今後どのようなことを期待されますか。		
項目7 民生委員・児童委員について			
27	あなたは、地域住民の中から選ばれた、住民の見守り活動や福祉・子育てに関する相談活動を行う民生委員・児童委員がいることを知っていますか。		
28	民生委員・児童委員の活動で、あなたは特に何を充実してほしいですか。		
項目8 成年後見制度について			
29	あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。		
30	あなたは将来、財産の管理や契約の手続きについて、自分ひとりで判断することが難しくなった場合に、「成年後見制度」を利用したいですか。		
30-1	問30で「1.利用したい」と回答した方にお聞きします。財産の管理や契約の手続きをしてくれる「成年後見人」は誰になってもらいたいですか。		
30-2	問30で「2.利用したくない」「3.わからない」と回答した方にお聞きします。その理由として、あなたの考えに近いものは何ですか。		
31	あなたの周りで、財産の管理や契約の手続きについて、自分ひとりで判断することが難しい方がいた場合、どこに相談しますか。もしくはどこに相談するように伝えますか。		
32	成年後見制度をより多くの方に知っていただくために、次のどの方法で周知すると効果的だと思いますか。		
	吹田市権利擁護・成年後見支援センター「けんりサポートすいた」を知っていますか。		

吹田市民の地域福祉に関する実態調査 第2回地域福祉計画庁内推進委員会における指摘事項及び検討結果一覧

問		指摘事項	検討結果
項目9 災害から生命を守る取組などについて			
33	防災に関する取組や情報について、あなたが知っているものはありますか。		
33-1	問34で「3.災害時要援護者支援制度」と回答した方にお聞きします。「災害時要援護者」への支援を進めるうえで、優先すべき取組は何だと思えますか。		
項目10 再犯防止の取組などについて			
34	再犯防止に関する民間協力者や取組で、あなたが知っているものはありますか。		
35	再犯や再非行を防止するためにどのようなことが必要だと思えますか。		
36	あなたは、非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思えますか。		
36-1	問37で「1.思う」または「2.どちらかといえば思う」と回答した方にお聞きします。どのような協力をしたいと思えますか。		
36-2	問37で「3.どちらかといえば思わない」または「4.思わない」と回答した方にお聞きします。協力したくない理由は何ですか。		
項目11 合理的配慮の取組について ※合理的配慮の提供義務化（令和6年4月1日）に伴い、所管室課と協議のうえ追加			
37	あなたは「合理的配慮」を知っていますか。	同様に認知度を測る問29の選択肢数（3択）と表現を揃えた方がわかりやすいのでは。	問29に表現を合わせる形で、①「1. ことばも内容も知っている」→「1. ことばは聞いたことがあり、内容のことも知っている」、②「2. ことばは知らないが、内容は聞いたことがある」→「2. ことばは聞いたことがないが、上記の【例】のような内容のことは知っている」に修正 また、4つあった回答項目のうち「3. ことばは聞いたことあるが、内容は知らない」を削除し、内容についての認知度を聞くこととした
項目12 その他（要望や意見等）			
38	国や府、市など行政に対する要望や意見、この調査に関する意見などをお聞かせください。	ページを分けた方が、この設問が調査票全体に係る質問であることがわかりやすいのでは。	設問の前に「その他（要望や意見等）」の枠を追記
その他御意見等			
—	—	調査表の余白に、地域活動や近隣との交流の大切さや地域共生社会の必要性を伝える内容の短いコラムを掲載するのはどうか。	第4次計画策定時より設問数が増加しており、回答者への負担軽減の観点から、実態調査には記載せず計画冊子への掲載を検討させていただきます。